

JP108 汐川干潟 (しおかわひがた)

愛知県：豊橋市、田原市

位置	N 34° 41′ E137° 18′
面積	900ha

環境構成【干潟】

砂泥質の干潟とヨシ原、小規模な塩性湿地。干潟は、堤防で囲まれ、陸側には、遊水池、田んぼ、畑、養鰻池跡などが広がっている。豊橋市側の干潟は、砂泥質で、田原市側は、より泥質が強く、カキ礁がある。塩性湿地には、フクド、ハマツナ、シバナ、シオクグなどの貴重な植物が生える。流入する河川は、いずれも小規模。最も大きな汐川には、川沿いにヨシ原が続き、夏にはハマボウが咲く。



写真提供：藤岡エリ子

選定理由

A4i	スズガモ・コチドリ・ケリ・キョウジョシギ・トウネン・ハマシギ・キアシシギ・チュウシャクシギ
-----	---

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10パーセント未満）である

保全への脅威

- ・ 流入赤土による干潟の土壌変化
- ・ 三河湾の富栄養化による赤潮、青潮の影響
- ・ 漂着ゴミ
- ・ 鳥類観察者のマナー（地元住民の反感を招いている）
- ・ 太陽光発電施設の設置
- ・ 津波対策堤防の耐震化工事に伴う、整備道路の設置

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
不明
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有
<調査データの入手方法>

野生鳥類生息調査結果報告書（愛知県）

<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/sizen-ka/shizen/yasei/chouturi/index.html>

保全活動

・環境教育活動：

探鳥会の実施（日本野鳥の会愛知県支部）

観察会、汐川干潟探鳥会（東三河自然環境ネット）

見られる鳥

留鳥	カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、トビ、バン、オオバン、シロチドリ、ダイゼン、ケリ、キジバト、ヒバリ、セグロセキレイ、モズ、セッカ、ホオジロなど
春の渡り	ミサゴ、オカヨシガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、コチドリ、ムナグロ、トウネン、タカブシギ、キアシシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、オオジシギ、セイタカシギ、ツバメチドリ、コアジサシなど
夏鳥	アマサギ、チュウサギ、コサギ、ヒクイナ、タマシギ、コチドリ、オオヨシキリ
秋の渡り	アマサギ、チュウサギ、コサギ、ミサゴ、ハジロコチドリ、コチドリ、メダイチドリ、ムナグロ、トウネン、ハマシギ、コオバシギ、オバシギ、エリマキシギ、アオアシシギ、クサシギ、タカブシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、イソシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ハウロクシギ、タシギ、オオジシギ、ウミネコ、アジサシ、ノビタキ
冬鳥	ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ホオジロガモ、オオタカ、ノスリ、チュウヒ、ハヤブサ、クイナ、ハジロコチドリ、タゲリ、ハマシギ、タシギ、セグロカモメ、ズグロカモメ、キセキレイ、タヒバリ、ツグミ、ホオアカ、カシラダカなど

関連団体・自治体・施設等

・日本野鳥の会 愛知県支部

・汐川干潟を守る会



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community